

昭和飛行機工業(株)
輸送・機器事業部、品質保証部
カスタマサポート課

拝啓、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
弊社タンクローリーの点検時の「注意点」を送付致します
のでご活用頂きます様お願い申し上げます。

スペアタイヤキャリアの取扱い

施行箇所	スペアタイヤ キャリア	施行時期	始業時 及び、3月毎・1年毎(車枠及び車体として)		
施行項目	スペアタイヤの 取付状況	施行方法	目視・触手	施行種類	法定点検・メーカー推奨

大型車両のタイヤは100kg程度の重量があります。スペアタイヤがしっかりと固定されていない場合、スペアタイヤが脱落したりするだけでなく、スペアタイヤキャリア自身の損傷にもつながります。スペアタイヤが脱落した場合、重大事故に発展する可能性があります。そのような事態を防止するため、日常点検ではスペアタイヤの取付状態を確認してください。また、車体の定期点検の際には、スペアタイヤキャリア本体(及び、ブラケット類)の健全性の確認をして下さい。

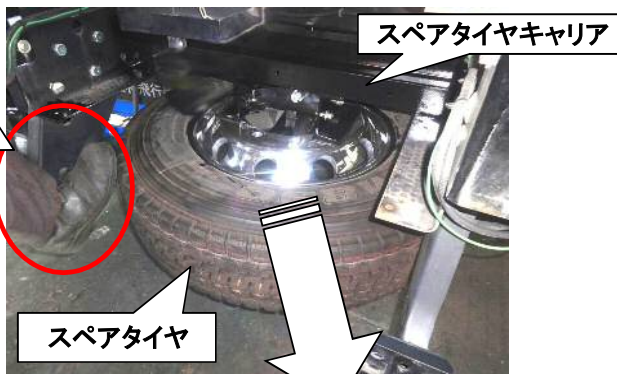
点検部位

- ・スペアタイヤキャリアの点検について。
- ①「スペアタイヤ」取付状態の確認(日常点検)

操作ハンドルを確実に差し込み、確実に巻き上げて下さい。(ハンドル操作力は30～50kg)
→→→ 操作ハンドルは、逆回転させずに抜いて下さい。



スペアタイヤが確実に固定された事を確認するため、**端部を足等で強く押し**、緩みやガタつきがない事を確認して下さい。



※.日常点検でスペアタイヤの緩みを確認して下さい。特に新品のスペアタイヤキャリアは、初期なじみによりタイヤのガタつきが発生する事がありますので、ハンドルで確実に増し締めして下さい。

吊金具の2つの上部突起が、ホイールの穴部に確実に掛っている事を確認して下さい。



点検部位

- ・ スペアタイヤキャリア の点検 について。
② 定期点検時

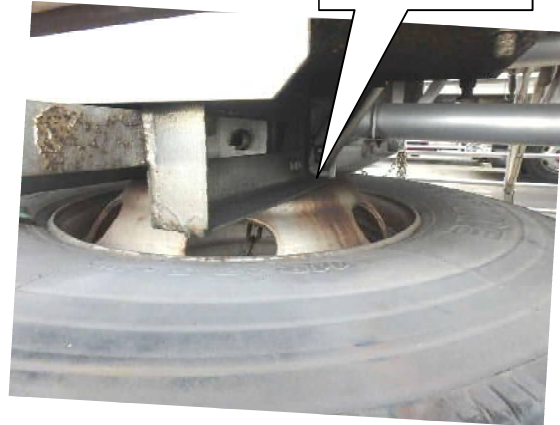
定期点検時にはキャリア自体の健全性の確認を行って下さい。取付ボルトの緩みや、キャリア自体の亀裂等があると、スペアタイヤキャリア自体の破損や、スペアタイヤの脱落に至る重大事故に発展する可能性があります。取付ボルトや、スペアタイヤの固定面に錆が確認された場合は、緩みが発生している可能性がありますので入念に点検して下さい。

※キャリア本体や、取り付けブラケットに異常がある場合は、弊社サービス工場にご用命下さい。

固定面の錆



ホイールに
錆水の痕跡



— スペアタイヤの緩み 例 —